

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02300000	産業振興部 環境課				
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費	01	保健衛生費	01	保健衛生総務費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業						
中事業	05	主要な取り組み	K P I	-			目標値	-	
小事業	01	ペット等適正管理事業	目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	狂犬病予防法に基づいた狂犬病予防注射や、動物の愛護及び管理に関する法律において動物との共存が求められている。また、ペットを飼っている人と飼っていない人での動物に対する認識の違いに加え、ペットを適正に管理するよう指導していかないと人の生命、身体及び財産に対する侵害並びに生活環境の保全上の支障をきたす恐れがある。				
	事業目的	(1)対象 ペットを飼っている市民(動物愛護法) 犬を飼っている市民(狂犬病予防法) 飼い主不明な猫や多頭飼いの飼い主(地域猫及び迷惑動物)  (2)目的 動物との共存 狂犬病予防法に基づいた犬の飼い方を周知場合によっては指導する 飼い主不明猫の繁殖抑制と地域の公衆衛生を守る				
	事業概要	・ペットの飼い方、その他動物に対する苦情対応 ・飼い犬の新規登録、所有者移動、登録抹消等の事務を行う。 ・狂犬病予防法に義務付けられた狂犬病予防注射を実施する。 ・飼い主不明な猫の不妊治療費を補助し、猫の自然繁殖を抑制する。 ・動物の適切な飼い方(フン・尿等)を助言し、地域の公衆衛生を守る				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	790 740	1,287 974	1,096 799	898	
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	202 / 605					

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	予防注射接種啓発 目標値 実績値	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	予防注射接種率 目標値 実績値	86 80	86 80.2	86 79.7	86	86

実 績	実績	狂犬病予防注射接種率 79.7% 予防注射接種啓発回数 2回 飼い主不明猫不妊等手術 14件
	効果	予防注射により狂犬病の予防となった。 また、啓発看板の配布によるフン書の苦情の軽減、直接飼い主への指導による、住民の苦情の軽減となった。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	ホームページや広報誌でも掲載し登録者に対し啓発を行えたことで目標値を達成することができた。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	予防接種率が前年度より下がってしまった。外国の方への予防接種案内はがきの未多言語化による周知不足が原因と考えられる。
	実績からR05年度の事業の方向性	啓発案内はがきの他言語対応又は多言語での周知方法の情報を集める。 QRコードなどを利用した方法などを検討する。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02300000	産業振興部 環境課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費
		目指す姿	01	保健衛生費	06
中事業	05	主要な取り組み	KPI	-	目標値
小事業	10	環境保全事業	目標年度	令和6年度	-

インプット	事業実施の背景にある課題	環境保全を怠ると温室効果ガスの排出や森林伐採により、地球温暖化が進行する。また、自然環境の破壊や生態系の変化により多くの生物種が絶滅の危機に瀕してしまう恐れがある。環境基本条例にもあるように、環境への負荷が少なく持続的に発展できる社会の実現と、豊かで快適な環境の保全と創出に積極的に取り組んでいかなければならない。				
	事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) ・河川、地下水の水質 ・事業所等の騒音、振動及び悪臭 ・大気 ・汚染土壌及び地下水 (2)目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 安全な環境を維持することで、市民が安心して暮らせる環境の保全を行い、安全な生活を回復させる				
	事業概要	・公害発生時等の緊急対応(野焼き、空地の管理含む) ・水質、騒音等の定点測定により変動を把握 ・土壌汚染地域において水質検査と浄化処理を行う ・環境教育として地元小学校で川の生きもの調査等を行う				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,036	2,006	2,484	2,937	
	決算額	1,636	1,645	2,211		
	年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	2,216 /		0		

アウトプット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	環境への関心度 カワゲラウォッチング参加人数	目標値	530	530	530	530
		実績値	469	600	600	

アウトカム	KPI(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	安心安全な環境の維持 一般環境騒音及び自動車騒音の基準を超える箇所	目標値	0	0	0	
		実績値	0	0	0	

実績	実績	・公害、苦情対応 117件 ・河川等水質定点測定 28件 ・騒音、大気定点測定 5件 ・カワゲラウォッチング 9校 4年生 600人 ・緊急測定 5件 水質3件、騒音2件
	効果	大きな事業所と公害協定を結んだり、市内で、河川等の水質や、道路等の騒音測定を定期的に実施し、環境保全に寄与している。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	毎年、市内で小学4年生対象のカワゲラウォッチングを実施し、市内小学校全校が参加している。
	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	一般環境騒音及び自動車騒音の基準値以内になっているが、測定場所の環境が保たれている、また道路は整備環境が良好であるといえる。  KPIが活動指標とのつながりが薄かったため、R5年度以降のKPIを「河川水質調査 BOD基準以下 基準値を超える件数」に変更する。
	実績からR05年度の事業の方向性	引き続き小学4年生でのカワゲラウォッチングを実施し環境教育を行うことで将来大人になった後の環境への考え方を向上させる。 定期的な水質・騒音・大気の測定も行うことで環境を保全する。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	02300000	産業振興部 環境課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	政策体系に基づかないその他の事業	款項目	04	衛生費
		目指す姿		02	清掃費	02
中事業	05	主要な取り組み		K P I	-	目標値
小事業	13	塵芥処理事務費		目標年度	令和6年度	

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	ゴミの分別は環境保護と資源の有効活用のために必要である。廃棄物の量が増え、有害物質が適切に処理されないと環境へ悪影響を及ぼす。				
	事業目的	(1)対象 市民  (2)目的 ごみ分別を周知し、資源化を促す				
	事業概要	カレンダー等を作成し、ごみ分別及び収集日に関する情報を、市民に周知する				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	1,145	1,578	1,389	1,195	
	決算額	806	898	1,148		
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	202 /		101		

アウト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	アパート等のカレンダー配布事業所数	目標値	50	200	220	220	220
		実績値	50	245	215		

アウト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	カレンダー配布数	目標値	20000	20000	20000	20000	20000
		実績値	20000	18000	20000		

実 績	実 績	カレンダー20,000枚配布 アパート等のカレンダー配布事業所数 215箇所
	効 果	ゴミ分別に関するカレンダーを周知し現在の収集方法の浸透をしたことで分別の促進となった。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	アパート集積所のゴミ管理意識の向上により、ゴミ分別に関するカレンダーを事業所が求めることが増えてきたことが目標値達成の要因と考えられる。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	全世帯の配布を行ったが目標値には届かなかった。要因として他言語(日本語以外で6言語)対応しているが美濃加茂市が更に多国籍になっていることが要因として考えられる。
	実績からR05年度の事業の方向性	R5年度は市内在住外国人の出身国に注視しながら、ゴミ分別に関するカレンダーの翻訳言語数を増やしていけるように事業を進める。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	02300000	産業振興部 環境課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04	衛生費	02		
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	02	清掃費	02	塵芥処理費	
中事業	05	主要な取り組み	K P I	-			目標値	-
小事業	14	ごみ収集事業	目標年度	令和6年度				

インプット	事業実施の背景にある課題	廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎日の生活から排出されるごみの収集運搬を行う必要がある。				
	事業目的	(1)対象 市民、事業所 (2)目的 一般廃棄物の円滑な収集及び運搬 ゴミ袋の安定提供				
	事業概要	・ごみ袋の作成販売、集積所の管理、ごみ収集運搬業務の円滑な運用。 ・地域のごみ集積所を適正かつ清潔に管理してもらうための管理費を支給。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額 決算額	204,032 198,032	195,723 194,141	206,065 202,877	206,179	
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)	1,411 / 504					

アウトプット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	ごみ減量啓発活動	目標値	6	6	6	6	6
		実績値	4	5	5		

アウトカム	K P I(単位)	R02	R03	R04	R05	R06	
	生活系可燃ごみ搬出量	目標値	8300	9000	9000	8500	8000
		実績値	9025	9045	9047		

実績	実績	生活系可燃ごみ 9,047t ごみ減量啓発活動 5回 集積所管理費支払い自治会数 179自治会 ゴミ袋作成数等 可燃大 1,720,000枚 可燃小 225,000枚
	効果	各家庭から排出される廃棄物を週2回(6~9月は3回)収集処理しているため、清潔で衛生的な状態が維持できている。

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	人が多く集まるイベントがまだ少なかったため、目標回数に達しなかった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍を経て、持ち帰りが浸透するなど生活形態が様変わりしてきたため、語彙の量が減らず、目標値に届かなかった。
	実績からR05年度の事業の方向性	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律により、新たにプラスチック使用製品の廃棄物の分別収集及び分別収集物の再商品化に対する取り組みを検討していく。

# 令和4年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	02300000	産業振興部 環境課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	02 清掃費
		目指す姿	03	環境整備費	
中事業	05	主要な取り組み	K P I	-	目標値 -
小事業	18	クリーン作戦事業	目標年度	令和6年度	

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	清潔で美しい環境は地域の魅力やイメージに大きく影響を与える。清掃活動が不十分の場合には地域の魅力が低下してしまう。また、地域住民の環境美化意識の低下は生活環境にも悪影響を与える。				
	事業目的	(1)対象 市民  (2)目的 地域住民の環境美化意識の向上と美しいまちづくりを推進				
	事業概要	美濃加茂市全域で一斉に実施されるクリーン作戦の事務費。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,211	2,213	2,258	2,349	
	決算額	1,339	1,176	1,586		
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	303 /		101		

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	ごみ収集量(草以外)kg	目標値	2800	2600	2600	2600
		実績値	3430	2920	2060	

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	クリーン作戦参加者数	目標値	13000	12000	12000	12000
		実績値	11449	7663	9156	

実 績	実績	クリーン作戦 9,156人参加 ごみ収集量 27,495kg 内訳 草 25,435kg 草以外 2,060kg
	効果	多くの住民がクリーン作戦に参加したことで、環境美化意識が向上しまちの美化がされた。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	草以外のゴミの量は減っており目標値を達成できなかった。未達成の要因として、地域住民の美化意識の向上によりゴミは減っていることに加え、草を含めた総収集量は多かったため草中心に収集したことが考えられる。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	前年度よりクリーン作戦参加者は増加したが、コロナ禍もあったため目標の参加者数には至らなかった。
	実績からR05年度の事業の方向性	まちを美しくする運動推進会議によってクリーン作戦の開催が決まれば、例年どおり実施していく。